

石炭火力発電を増やしてよいか

—パリ協定の下で考える—

日時:2017年6月18日(日) 14:00~17:00

場所:中部大学名古屋キャンパス大ホール (名古屋市中区千代田 5-14-22)

JR 中央本線「鶴舞」駅名大病院口(北口)下車すぐ向い側

地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅3番出口から中央線線路に沿って北へ約100m 左側

中部の環境を考える会が、昨年6月の総会記念シンポジウムで取り上げたパリ協定は、2016年11月発効し、地球温暖化の防止に向けた国際的な動きへの期待が広がりました。しかしアメリカでは、今年に入って就任したトランプ大統領が、パリ協定からの脱退を公言し、実際にもアメリカ国内での温暖化防止に向けたエネルギー政策をひっくり返しつつあると伝えられています。日本では、化石燃料のなかではCO2の排出量が多いとされている石炭を使った火力発電所が次々と立地されようとしています。こうしたことを続けていて、日本はパリ協定の約束を十分に果たせるのでしょうか。また国際的にも、パリ協定の目指した方向は、これから実効的に進んでいくのでしょうか。今年のシンポジウムでは、こうした観点から、石炭火力の問題を取り上げました。奮ってご参加ください。

シンポジウム・プログラム

【話題提供 1】

「石炭火力発電所に対する国際的・国内的動向、関西における気候ネットワークの取組」

山本元さん(特定非営利活動法人気候ネットワーク研究員)

【話題提供 2】

「中部電力武豊火力発電所リプレースの環境アセスメント—情報公開のあり方を中心に」

宇佐見大司さん(中部の環境を考える会代表世話人)

【話題提供 3】

「石炭を巡る環境問題」

竹内恒夫さん(名古屋大学大学院環境学研究科教授)

【質疑討論】

参加自由・入場無料

(資料代 500円)

主催 中部の環境を考える会

シンポジウムに先立って、当会総会を13:15~13:45まで行います。

お問い合わせ先:中部の環境を考える会事務局

TEL:052-241-7613 FAX:052-241-1055

HP:<http://www.geocities.jp/acechubu/>

当日連絡先 090-5873-3751(宇佐見・携帯)

